



動労千葉

83. 7. 9

No. 1386

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄電）二九三五〇六（公衆）〇四七二二二七二〇七

勝利争闘ジェット塚三里 / 砕粉革行・調臨

二世推進を呼号する中曾根を打ち倒せ

7・31集会の成功かちとり、 8・8パイプライン供用粉碎へ

八・八パイプライン供用開始をもって、二期着工攻撃は、本格化してきている。それは、反動中曾根首相が自ら千葉県入りし（六月二一日）「空港二期は、地元の皆さんの協力を得て是非促進していく。私も過去に運輸大臣をやり、空港問題に取り組んできたが、外国からの要望も強い。用地買収など円満に進めながら、積極的にやっていく」と発言している。つまり歴代の首相のなかで、三里塚空港積極的推進発言をしたのは、中曾根がはじめてである。二期着工強行に全体重をかけ、そのためにはいかなる手段をもつても「早期促進せよ」と、現首相が自ら指揮をとりうってでてきたということである。われわれは、反動中曾根の打倒の闘いをかけて、三里塚二期着工阻止を闘おうではないか。

7・31三里塚・反戦集会、8・8パイプライン供用粉碎集会の成功をかちとり、10・9三里塚現地大集会の空前の大爆発をかちとろう。

自ら千葉にのりこみ、
「二期促進」の陣頭指揮をとる中曾根

参院選の最中、千葉にきた中曾根は、又、「条件も整備され、いよいよ二期工事を行う必要がでてきた。土地買収が円満に行われ・・・」とも発言している。

われわれは、この中曾根の発言を怒りをもって弾劾する。三里塚反対同盟十八年の闘いを「土地買収が円満に行われ・・・」などとうそぶく中曾根を断じて許せない。問答無用の暴力、機動隊万能の農民圧殺政治を強行し、多くの反対同盟農民や労働者人民の血を流し虐殺をほしのままにできたやつらが「土地買収が円満に行われ・・・」などと言う事自体、絶対に許すことはできない。これは、あらゆる困難をのりこえ、今なお農地死守を原点として闘いつづけている。敷地内反対同盟農民を中心とする闘いに完全に圧倒され、それゆえに強権をもって、二期着工に突入せざるを得ないという、中曾根の絶望的危機感を如実に示したものである。

とめどなく腐敗し、
権力に屈服・協力してゆく脱落派

こうした政府・空港公団、権力の攻撃と軌を一にして「一坪再共有化」なる屈服路線、土地切り売り運動に転落している一部の脱落部分を徹しく弾劾しなければならない。

三里塚十八年の闘いの大義・基本路線である「農地死守・実力闘争・空港絶対反対」の旗をなげすめて以降の彼ら脱落派の腐敗・変質は今やと

どまる所を知らない。二期攻撃の激化している五月、現地闘争を完全に放棄して、「抗議」と称して空港公団・運輸省首脳と談合への道を拓げようとしている脱落派は、現地では限りなく条件派に接近し、用水派とゆ着している。そして、「一坪再共有化」運動なるものが、全国的に破産している危機感から最近では、七月一日、関西で開催された集会において、正当な手続きを経て入場し、「一坪再共有化」の不正義性を真剣に討論しようと提起した参加者を会場内でテロを加えたあげく、権力につき出すという極めて反動的・反労働者の行為を行った。これは、断じて許されるものではない。われわれは、天を突く怒りをもってこうした一部脱落派分子を粉砕しなければならない。

今こそ、反戦・

三里塚闘争に総決起しよう！

中曾根の「二期促進」発言をうけて今や全ての反動勢力が、三里塚闘争破壊、三里塚反対同盟や動労千葉など闘う勢力の解体へと全力をあげてきている。レーガンの戦争排発政策、中曾根の軍事大國化路線を背景にいよいよ八月核武装戦艦ニュージャーシー、世界最大核空母カールビンソンが横須賀に寄港するという重大情勢に入ろうとしている。この戦争への動きを、今全力で阻止するために闘わなければならない。三里塚二期阻止闘争はその基軸をなす闘いである。

八・八パイプライン供用開始阻止闘争から十・九現地闘争への爆発的闘いを闘いぬき、この闘いの渦中で全ての反動を断固粉碎して前進しよう。七・三一反戦・三里塚集会の圧倒的成功をかちとろう。

全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉碎せよ！